



長照寺だより

和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



門信徒のつどい(総代・仏婦・仏壮研修会)

◆ 浄土真宗本願寺派 東京教区 静岡東組 公開講座 ◆ 令和元年10月26日



第50回門信徒会親睦ゴルフコンペ

◆ 令和元年10月16日 ◆



お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)

◆ 令和元年7月29日~31日 ◆

信心をいただいた上は、同じみ教えを聴聞しても、いつも
目新しくはじめて耳にするかのように思うべきである。

(蓮如上人御一代記聞書)

とにかく読んでみては！



住職 本持 愚山

「平成」から元号が「令和」になりました。長照寺が平成の元号と共に歩んできました事をご存知でしたか。「令和」を迎え二十一年間が経ちましたが歴史的には短い短いお寺です。そこで三十年前を振り返り何故この地にお寺を建てようと思つたのか記述させて下さい。

世の中には多くの宗教が広まり伝えられています。それぞれの教えが祈ると言う行為により、人間が持つ欲望や願いが叶うのではと誤つた考えが伝えられています。本来宗教の持つ意味は全てとは言いませんがほとんどが同じ考え方なのです。それは万民が、国民が、人類が、共に健康で、仲良く楽しく生きていきましょうと「生き方」が教典によって示されているのです。仏教なら「お経」、キリスト教なら「聖書」、イスラム教なら「コーラン」と言う具合にそれぞれの教えに従い人間が人間らしく生き

て行く上で、金子みすゞさんと言う詩人は「人はみんなちがつてみない」と互いを認め合つて生きとし生きていく命の間を詩に残しています。

お寺はこうした考え方を伝え誤りを正していく場所なのです。たとえば「迷信」、「俗信」、「風習」、「しきたり」に、がんじがらめの生き方から解放され、偏かたよらない人生を歩む道が示される処なのです。日の善し悪し、方角、仏(物)滅、友(共)引きと言つた六曜こだわに拘つた生活、数字の四を死と嫌い、九を苦と嫌つた意味の無い語呂合わせ的生き方、古き伝承も現代に合わない、これが常識と誤解の日暮らし。こうした現状を少しでも正しい方向へと伝えて行く事ができればの思いが寺院建立へと駆り立てられ、三十一年が過ぎようとしています。

現在多くの方々が当寺院に来られますが、前述の思いに共感して頂きご参拝下さる方もいらしゃれば、まだぐく亡き方の為、ご先祖様の為と思われている方々がいらつしやるのも事実です。ここで改めて申し上げます。

お寺は、あなたがより楽しい生き方をあなたの大切なご先祖様(仏様)から聞かせて頂く処ですとお伝えします。

最後まで読んで頂きありがとうございます。

称名



お寺は心の拠り処



長照寺門徒総代 齋藤善治

今年七月に、皆様に門信徒会費について
のお願いを致しました。予定通りに実施すべ
く準備中でありませぬ。皆様のご協力に感謝申
上げませぬ。

これにより、長照寺の護持基盤がより強化
され、寺院の各種伝道活動に、より力が入っ
て行くこととせしめよう。

これまで門信徒の皆様には、宗門で実施
される色々の研修会への参加を呼び掛けてま
いりましたが、現状は参加人員が少なく限ら
れた人々たちになっていませぬ。

参加してみると、浄土真宗の教えに触れた
感動を実感することが出来るのですが、もつ
と多くの人々たちに聴いて欲しいなという思い
を強くしております。

お寺に何を求めてお参りに行くかは各人の
考えにより様々だと思ひますが、素晴らしい
浄土真宗の教えが仏さまの方から私達の方

に届いているという教えに気付かせていただ
くだけでも心が楽になるような気がしませぬ。

女優の樹木希林さんが昨年九月に亡くなり
ましたが、生前の生き方が話題になっていま
す。女史の著作「樹木希林のことば―一切
なりゆき―」という本を読みましたが、この
中で、「我々は、お互いがお互いにとつての
提婆達多（ダイバダッタ）なんです」と語っ
ていませぬ。

この提婆達多という人は、仏説観無量寿經
に出てくる王舎城の悲劇という物語の登場人
物です。この事件で王家の家族が罪の意識か
ら悩み苦しむのですが、お釈迦様が仏教の教
えによつて救つたという具体的事例として示
されていませぬ。

樹木希林さんは、日常的にお経を読んでい
たとのことですから、お釈迦様が示した仏教
の教えに触れていたことが分かります。心の

中に、火宅無常の炎を抱えて苦しんでいたよ
うですから、心に響いたのかもしれない。

私たちの浄土真宗においても、この悲劇の
物語は親鸞聖人によつて「教行信証」という
お経の中に示されていませぬ。

最近の世相は、ニュースを見ると分かりま
すが、暗い気持ちになることが多く、特に殺
人事件をみると、現代に至つてもお釈迦様の
時代と同じような悲劇が繰り返して起きている
と感じませぬ。

私たち念仏者には、阿弥陀如来の本願力に
よる素晴らしい救いの道が、如来様の方から
用意されていませぬ。それが、お念仏の声とし
て私達に届いていると聴いてきました。

歳をいくら重ねても、煩惱具足の凡夫の苦
しみは無くなることはありません。

どうかお寺に出かけて法話に耳を傾けてみ
ようではありませんか。

少しでも明るく、豊かな人生を過ごすため
には、心の拠り処がなくてはなりません。そ
れは撰取山長照寺しかないような気がしま
す。

合掌

活動報告

平成三十一年四月～令和元年十月

花まつり「お釈迦様の誕生日」

お参り後、映画鑑賞をし、お釈迦様のご生涯を学びました。



平成三十年四月七日
五〇余名

第四十九回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成三十一年四月十六日：大熱海国際ゴルフクラブ

優勝 中山 和明さん
準優勝 本持 愚山さん（住職）
第3位 関 礼子さん



静岡東組組会

平成三十一年四月二十二日

：善教寺

門信徒会定期総会

おかげ様で、各議案ともご承認いただきました。



令和元年五月六日
：五〇余名

東京教区仏教壮年会研修会

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。



令和元年五月十一日
：築地本願寺

恵みのお参り

「命のつながり・命の尊さ」を伝えていくお参りです。

初参式

・令和元年六月八日

鈴木 さくら さん

※写真は8ページに掲載



：長照寺本堂

境内清掃作業・親睦懇親会

作業終了後のスイカの味は格別でした。



令和元年七月二十八日
一〇〇余名

お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）

令和元年七月二十九日～三十一日
：富士吉田市立青少年センター「赤い屋根」

静岡・神奈川・山梨県内の小学校三年生
 中学校三年生が集まり、アウトドアパーク
 での冒険・キャンプファイア・ゲーム等を行
 いました。

※写真は表紙・
 8ページにも
 掲載



秋季彼岸会法要

講師

松岡晃徳 師



令和元年九月二十三日
 一〇〇余名

合同盆法要(全八回)

令和元年八月十三〜十五日
 ……約二〇〇家族(約五〇〇名)

ご先祖様曰く
 「皆が元気でうれしいよ。
 これからも頑張つて
 楽しく生きてほしいな…」



第五十回門信徒会親睦ゴルフコンペ

令和元年十月十六日

……富士エースゴルフ倶楽部

- 優勝 佐藤 周平 さん
- 準優勝 石渡 浩二 さん
- 第3位 元原 郁夫 さん

※写真は表紙にも掲載



東京教区総代・世話人研修会

令和元年九月八日
 ……築地本願寺



門信徒のつどい(総代・仏婦・仏壮研修会)・ 浄土真宗本願寺派 東京教区 静岡東組 公開講座

令和元年十月二十六日……ホテルサンバレー富士見(伊豆の国市)

※写真は表紙・7ページにも
 掲載

※感想文を7ページに掲載



今後の活動予定

令和元年

11月17日(日)	報恩講	本堂
11月17日(日)	門信徒会臨時総会	本堂
11月30日(土)	境内清掃作業	境内
12月8日～9日	静岡東組門徒推進委員 養成連続研修会(第1回目)	築地本願寺
12月31日(火)	除夜会	本堂

令和2年

1月4日(土)	修正会・新年会	本堂
1月～日	ご正忌報恩講	西本願寺
1月13日～14日	静岡東組門徒推進委員 養成連続研修会(第2回目)	ホテルサンバレー 富士見
2月～日	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	
2月29日～ 3月1日	静岡東組門徒推進委員 養成連続研修会(第3回目)	ホテルサンバレー 富士見
3月20日(金)	春季彼岸会法要	本堂
4月12日(日)	寺報第43号発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。

※**定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。**

※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
気持ちが軽くなる自分を発見
できるかもしれません。)



門信徒 松本隼弥

- 令和元年7月29日～31日
- 富士吉田市立青少年センター「赤い屋根」

お寺の林間学校
 (南ブロック門徒子弟研修会)

門信徒のつどい（総代・仏婦・仏壮研修会）

浄土真宗本願寺派 東京教区 静岡東組 公開講座

◆令和元年十月二十六日 ◆ホテルサンバレー富士見



門信徒 佐々木 泰子

昨日までの悪天はどこへ、今日は晴ればれとした青空に変わり、富士も美しい姿を見せてくれていました。組内各寺院「門信徒のつどい」で徐々に顔を合わせ、今日は浄土真宗本願寺派 東京教区 静岡東組の「公開講座」です。（一般の方々を含む）

「お勤め」が終わり、「研修会」講座と進み姜 暁艶先生の二胡演奏会が始まりました。

最初の演奏は「愛燦燦」、毎日母との会話をしている気持ちの美しさ、物悲しさ、哀愁のある調べを耳にして二胡の繊細な音色が心を捉えてしまいました。美しい音色に何か色彩を感じる気がしました。

「み仏に抱かれて」「アニバーサリー」「蘇州夜曲十夜来香」「薔薇のタンゴ」等々、最後には馬も現れ、二胡の演奏されながらの先生とお寺さんのダンスも見ものでした。たのしい演奏会でした。一緒に出掛けた人達も喜んでいました。有難うございました。 合掌



姜暁艶先生演奏会



恵みのお参り

… 初参式 …



鈴木 さくら さん

お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)

令和元年7月29日～31日



◆長年、編集人としてご尽力いただきました長島氏のご往生されました。心より哀悼の意を表します。

編集
後記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
☆次回寺報は、2020年4月12日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044 三島市徳倉1195-817 TEL・FAX055-988-3900
編集人 = 菊沢・斎藤・園田・杉山